

学校
通信



令和2年7月2日
大田区立石川台中学校
発行 経営支援部

石川台中学校には、感動がある！



校長 村上 昭夫

★「学校の新しい生活様式」

通常登校となって2週間が過ぎました。石川台中学校の「新型コロナウイルス感染症に対する当面の学校生活について 2」をもとに、「学校の新しい生活様式」で学校生活を送っています。保護者の皆様にもご協力をいただき、未然の予防に努めています。

前号でも述べましたが、生徒の皆さんは「学校」に入学してからコロナ以前までの生活様式とは違ったりなかったりしたことをしているわけです。これを続けていけば、習慣化して普通に感じるようになります。私を始め皆さんの心がけにより安心、安全な学校生活を送っていきましょう。

◆梅雨真っ盛り

天候が続いています。熱中症にも気を付けなければなりません。「ほけんだより」を参考に、自己管理を十分にするようお願いいたします。

7月の異名を文月（ふづき、ふみづき）と言います。語源を調べると、短冊に歌や字を書き書道の上達を祈った七夕の行事にちなんでふみひらきづきが転じた、とありました。言葉に注目する月でもあるようです。

◆「いじめは絶対に許さない」

「いじめは許さない。」と今年も生徒に宣言しました。どんないじめが一番多いのか、というと「冷やかしからい」です。言葉によるものが一番多いのです。中学生なので、自分の言葉に責任を持つことを生徒に考えさせます。責任を持つとは、言葉の聞き手がどんな気持ちを持つか、どんな影響を与えるか、ということです。新しい生活様式においてもこのことは変わりません。一人一人がこの気持ちを持ってほしく思います。

★「石川台中学校には、感動がある！」

この言葉を言い始めて3年目に入りました。入学当初は、「どういう意味だろう？」と思う生徒が、この言葉の意味を実感することに私は本校の教育活動の本質があると思っています。生徒の皆さんが楽しみにしている学校行事、区主催行事も中止せざるを得ないものがあり、現在の状況を前号でお知らせしました。今後も状況に応じて中止や変更となることがあるかもしれませんが、また、校内の教育活動の日程も適宜変更していくことがあろうかと思えます。皆様にはご迷惑をおかけすることもございますが、こういう状況においてもこれからの教育活動で生徒、保護者の皆様に、「石川台中学校には、感動がある！」ということを実感していただけるよう努力してまいります。

◎お知らせ◎工事等について◎

1 体育館

体育館に空調機が設置されます。(冷房、暖房ができます!) 今月から工事を本格的に開始します。8月末に設置が完了し、9月に試運転を行う予定となります。これにより、7月中旬まで体育館が使用できない予定です。

2 特別支援学級の開設に伴う教室工事

大田区教育委員会の決定により、令和3年度に特別支援学級(知的障害固定級)が開設されることになりました。それに伴い、2階のエレベーターから東の現サポートルームまでの各部屋を特別支援学級の教室等とするため今月から工事が始まります。相談室、教育相談室、サポートルーム、生徒会室は3階に移動します。これまで3階にあった、防災備蓄倉庫の位置が変わるなど、校舎の教室配置が変わります。

◎◎◎距離を保って◎◎◎

「新しい生活様式」の毎日が始まっています。少しずつ少しずつ、なじんできたように思われます。廊下の水道前の床には赤いビニールテープを貼り、手洗い時に並ぶときの距離を保つような目印としています。

全校朝礼は、ICTを活用し、教室の電子黒板に校長先生の姿がリアルタイムで登場するよう、リモートで実施しました。

人と人との間は一定の距離を保つよう、様々な形を考え、学校全体で取り組んでいきます。



●●保護者のみなさまにお願い●●

毎日の健康観察につきまして、ご家庭での協力ありがとうございます。ただ、残念なことに、わずかではありますが、記入漏れ・押印漏れ・観察表忘れといった状況がございます。学校は生徒の健康・安全を第一に考え、漏れや忘れのあったすべての家庭に毎回健康確認の連絡をとっております。ご多用のところを恐縮ですが、お子様の健康観察表について改めてご確認いただき、今後も漏れ・忘れのないようご協力をよろしくお願いいたします。